校 長 室 だ よ り（No.29）

令和５年１月 18 日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

28 年目の「伝える」「備える」「活かす」

昨日で、あの震災から 28 年目を迎えます。神戸だけでなく、全国の様々な場所で安全な暮らしに向けた取組や亡くなられた方の追悼の式が行われました。あの震災を経験した兵庫県に住む私たちは、震災をとおして経験したことをしっかりと「知り」「伝え」、これから起きることが予想される南海トラフ地震などの災害にしっかりと「備える」必要があります。また、震災を経験することにより得ることか出来たものを「活かし」ていくことが大切であると考えます。以下は、黒井小学校のメモリアル集会で私から子どもたちにお話しした内容です。

平成７年１月１７日午前５時４６分に淡路島を震源とする大きな地震（震度７）がおきました。ここ丹波市でも大きな揺れがありました。この地震で６４３４人の方が亡くなられました。皆さんのような子ども（１９歳以下）も５６９人亡くなられています。怪我をされた方は、分かっているだけでも 43792 人にのぼります。
それから２８年が経ちました。この後も、日本各地で災害がたくさん起こっています。東日本大震災など最近では、九州や北海道でも大きな地震がありました。日本は、自然災害の多い国だと言えます。ある調査では、世界中で起こっている地震の 10 回に１回は日本で起こっているそうです。しかし、これらの大きな災害を通して大勢の人がたくさんのことを学びました。詳しいことは、この後、各教室で担任の先生と学習します。

今、お話ししたように、みなさんは、この震災を経験した兵庫県に住んでいます。今から言う３つのことを大切にしてほしいと思います。

１つ目は、「知る」（「伝える」）ということです。阪神・淡路大震災や東日本大震災などの「災害」のことをしっかり学んでください。例えば阪神・淡路大震災なら、今から 28 年前に何が起きたのか。様々な災害に関する知識を持ちましょう。

２つ目は、「備える」です。いつ、どんな災害（地震、水害、台風など）がどこで起こるか分かりません。（南海トラフ地震も近い将来に起こるとされています）いつ、どんな災害が起こっても、自分の大切な「命」を自分で守れるようにしてください。命を守る方法・技術を身につけましょう。

最後は、「活かす」です。災害について知り、備えることを普段の生活でも活かしてください。そして、何よりも自分のまわりの人たちと助け合える関係をつくってほしいと思います。そのために「まわりの人に挨拶をする」（普段からコミュニケーションをとること）、「友だちや家族と普段から助け合う」（災害時の助け合いにつながっていきます）、「人のために努力する」（ボランティア精神の基となります）ことを大切にしてください。